



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 第一化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4235 URL <http://www.dkktokyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 淳文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役法務・コンプライアンス室長 (氏名) 高山 裕史 TEL 042-644-6516  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,354	24.5	252	95.9	294	75.1	209	95.5
27年3月期第1四半期	1,087	3.1	129	△7.3	168	2.8	106	△2.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 209百万円 (96.1%) 27年3月期第1四半期 106百万円 (△12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	36.03	34.92
27年3月期第1四半期	19.14	18.79

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	4,714	3,388	71.7	582.09
27年3月期	4,632	3,269	70.5	563.12

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,379百万円 27年3月期 3,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	17.00	17.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,568	11.7	368	23.6	448	20.1	270	14.0	46.58
通期	5,170	9.0	737	△1.9	912	0.7	581	△1.0	100.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	6,800,000株	27年3月期	6,800,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	994,158株	27年3月期	996,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	5,805,380株	27年3月期1Q	5,588,436株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が15年ぶりに2万円を突破し景況感が高揚していることにより、また外国為替相場が1\$=120円を超える円安基調で推移したため、輸出企業を中心として好調に推移しております。その一方で、欧州における債務問題の拡大や中国市場に対する先行きは不透明感が高まっております。

このような状況の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、昨年より実施している委託生産により供給の安定化を図り、引き続き生産効率の向上や新商品開発の推進及び既存製品の改良に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は13億54百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益2億52百万円（前年同四半期比95.9%増）、経常利益2億94百万円（前年同四半期比75.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億9百万円（前年同四半期比95.5%増）となりました。

用途別の業績は、次のとおりであります。

## ①家具・車輛用

米国・欧州市場向け販売は高実績となりました。委託生産による安定供給数量の増加、円安・ドル高が追い風となって実績を押し上げております。また、従来品である“FIORE”“Brisa”, “Rodeo”等に防汚加工、UV加工等の付加価値を付けた商品にも注目が高まっております。新商品と相まって売上増に貢献しております。

特にトラックのシートカバー、大型バスやキャンピングカー等の車輛用、ボート用、各種ホールやホテル等のコンラクトマーケット用への販売は順調に進んでまいりました。中でも自動車用はG.M、クライスラー等の自動車メーカーへの各種部材の販売や、航空機用においてもシートや内装部材への供給が好調に増加しております。

この結果、家具・車輛用の売上高は10億98百万円（前年同四半期比41.3%増）となりました。

## ②手袋用

ゴルフグローブ用は、米国の天候不順による影響が懸念されたものの、堅調に推移いたしました。しかしながら乗馬用及び作業用につきましては、当初予定していた販売量を達成することができず、前年同四半期を下回る結果となりました。

この結果、手袋用の売上高は1億24百万円（前年同四半期比7.4%減）となりました。

## ③その他

衣料用のファッショントレンドはスエード調へ流れ始めており、ナッパ調を主流とした当社製品のニーズは少し落ち着いてきたようであります。衣料用は従来から数年単位でトレンドが変動するため、衣料用が停滞する場合は安定市場である家具・車輛用などの産業資材用へ供給を振向けることによりトータルとして純減とならないよう努めてまいりました。

この結果、その他の売上高は1億17百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。

## ④溶剤（DMF）

製品製造の過程において使用された溶剤（DMF）を回収し、再利用によるコストダウンを図りながら余剰回収分を販売しており、売上高は13百万円（174.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は30億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億79百万円減少し、受取手形及び売掛金が2億45百万円増加したことによるものであります。固定資産は17億円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加24百万円増加及びその他関係会社有価証券が45百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、47億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が74百万円減少したことによるものであります。固定負債は3億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済、役員退職慰労引当金の減少、退職給付に係る負債の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、13億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は33億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億9百万円及び剰余金の配当98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.7%（前連結会計年度末は70.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月11日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,669	769,317
受取手形及び売掛金	1,315,382	1,560,445
商品及び製品	367,157	378,870
仕掛品	53,835	71,534
原材料及び貯蔵品	106,167	108,527
その他	111,877	125,303
流動資産合計	3,003,090	3,013,998
固定資産		
有形固定資産		
土地	540,912	540,912
建設仮勘定	374,351	407,089
その他	322,799	314,434
有形固定資産合計	1,238,064	1,262,436
無形固定資産	32,102	30,054
投資その他の資産	359,539	407,730
固定資産合計	1,629,705	1,700,221
資産合計	4,632,795	4,714,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	309,601	320,811
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	35,280	35,280
未払法人税等	140,529	65,553
賞与引当金	41,250	6,456
その他	116,792	202,153
流動負債合計	943,454	930,255
固定負債		
長期借入金	305,900	297,080
役員退職慰労引当金	17,920	9,500
退職給付に係る負債	87,758	79,001
繰延税金負債	8,087	10,034
固定負債合計	419,666	395,616
負債合計	1,363,121	1,325,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	415,500	415,500
資本剰余金	240,120	240,120
利益剰余金	3,086,270	3,196,301
自己株式	△485,415	△484,455
株主資本合計	3,256,474	3,367,465
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,791	12,038
その他の包括利益累計額合計	11,791	12,038
新株予約権	1,408	8,844
純資産合計	3,269,674	3,388,348
負債純資産合計	4,632,795	4,714,219

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,087,198	1,354,013
売上原価	814,047	970,724
売上総利益	273,151	383,289
販売費及び一般管理費	144,017	130,368
営業利益	129,133	252,921
営業外収益		
受取配当金	823	500
持分法による投資利益	36,764	41,004
その他	1,988	1,151
営業外収益合計	39,575	42,655
営業外費用		
支払利息	494	1,132
その他	40	11
営業外費用合計	535	1,143
経常利益	168,174	294,433
特別損失		
固定資産除却損	75	194
特別損失合計	75	194
税金等調整前四半期純利益	168,099	294,239
法人税、住民税及び事業税	36,233	97,204
法人税等調整額	24,887	△12,143
法人税等合計	61,121	85,061
四半期純利益	106,978	209,178
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,978	209,178

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	106,978	209,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,507	—
為替換算調整勘定	△1,670	246
その他の包括利益合計	△163	246
四半期包括利益	106,814	209,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,814	209,425



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

当社グループは、合成皮革製品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。